

平成 24 年 12 月期 第 2 四半期決算短信（非連結）

平成 24 年 8 月 20 日

会 社 名 株式会社ミック経済研究所

本社所在都道府県 東京都

本社所在地 東京都港区芝四丁目 7 番 8 号 芝サンエスワカマツビル 10 階

問い合わせ先 責任者役職名 総務課長

氏 名 村井 則道

T E L (03) 5443-2991

1. 平成 24 年 12 月期第 2 四半期の業績（平成 24 年 1 月 1 日～平成 24 年 6 月 30 日）

(注)1. 本四半期決算短信の数値は、監査を受けておりません。

2. 本四半期決算短信の記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(1) 経営成績

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益	
	千円	%	千円	%	千円	%
24 年第 2 四半期	58,852	(△14.7)	2	(△100.0)	18	(△99.8)
23 年第 2 四半期	68,961	(12.3)	7,372	(—)	7,433	(—)

	当 期 純 利 益		1 株 当 たり 当 期 純 利 益 金 額	潜在株式調整後 1 株 当 たり 当 期 純 利 益 金 額	自 己 資 本 当 期 純 利 益 率	総 資 産 経 常 利 益 率	売 上 高 経 常 利 益 率
	千円	%	円 銭	円 銭	%	%	%
24 年第 2 四半期	△91	(—)	△26 31	- -	△0.1	△0.0	0.0
23 年第 2 四半期	7,684	(—)	2,205 06	- -	4.6	4.0	10.8

(注) 1. 期中平均発行済株式数 24 年第 2 四半期 3,485 株 23 年第 2 四半期 3,485 株

2. 会計処理の方法の変更 無

3. 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率

4. 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載をしておりません。

(2) 財政状態

	総 資 産	純 資 産	自 己 資 本 比 率	1 株 当 たり 純 資 産 額
	千円	千円	%	円 銭
24 年第 2 四半期	180,178	163,343	90.7	46,870 49
23 年第 2 四半期	189,701	169,808	89.5	48,725 52

(注) 期末発行済株式数 24 年第 2 四半期 3,485 株 23 年第 2 四半期 3,485 株

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	千円	千円	千円	千円
24 年第 2 四半期	1,283	23	—	153,271
23 年第 2 四半期	7,664	7,755	—	155,116

2. 平成 24 年 12 月期の業績予想 (平成 24 年 1 月 1 日～平成 24 年 12 月 31 日)

	売 上 高	経常利益	当期純利益	1 株当たり年間配当金 (円)				
				第 1 四半期	中間期末	第 3 四半期	期 末	年 間
	千円	千円	千円				円 銭	円 銭
通 期	127,000	4,200	2,500	—	—	—	140 00	140 00

(参考) 1 株当たり予想当期純利益金額 (通期) 717 円 36 銭

(注) 1 株当たり予想当期純利益金額 (通期) は、第 2 四半期末現在の発行済株式数が期末まで変動しないと仮定した予想期中平均発行済株式数をもとに計算しています。

平成 24 年 8 月 20 日

第 22 期 第 2 四半期報告書

(平成 24 年 4 月 1 日から平成 24 年 6 月 30 日まで)

会社名(定款上の商号) 株式会社ミック経済研究所
 英文名(英文商号) MIC RESEARCH INSTITUTE LTD.
 代表者の役職氏名 代表取締役社長 有賀 章
 本店の所在の場所 東京都港区芝四丁目 7 番 8 号
 芝サンエスワカマツビル 10 階
 電 話 番 号 03-5443-2991
 連 絡 者 総務課長 村井 則道

I 四半期の業績

(1) 損益計算書

(単位：千円)

期 別 科 目	第 22 期 第 1 四半期 自平成 24 年 1 月 1 日 至平成 24 年 3 月 31 日	第 22 期 第 2 四半期 自平成 24 年 4 月 1 日 至平成 24 年 6 月 30 日	当期累計 自平成 24 年 1 月 1 日 至平成 24 年 6 月 30 日	前年同期累計 自平成 23 年 1 月 1 日 至平成 23 年 6 月 30 日
売 上 高	29,669	29,182	58,852	68,961
売 上 原 価	22,896	20,884	43,781	46,262
売 上 総 利 益	6,772	8,298	15,071	22,699
販売費及び一般管理費	8,172	6,897	15,069	15,326
営業利益又は損失(△)	△1,399	1,401	2	7,372
営 業 外 収 益	15	—	15	61
経常利益又は損失(△)	△1,383	1,401	18	7,433
特 別 利 益	—	—	—	3,885
税引前四半期(当期) 純利益又は純損失(△)	△1,383	1,401	18	11,319
法人税・住民税及び事業税	22	86	109	3,245
四半期(当期)純利益 又は純損失(△)	△1,406	1,314	△91	7,684

項 目	第 22 期 第 1 四半期 自平成 24 年 1 月 1 日 至平成 24 年 3 月 31 日	第 22 期 第 2 四半期 自平成 24 年 4 月 1 日 至平成 24 年 6 月 30 日	当期累計 自平成 24 年 1 月 1 日 至平成 24 年 6 月 30 日	前年同期累計 自平成 23 年 1 月 1 日 至平成 23 年 6 月 30 日
期 中 平 均 株 式 数	3,485 株	3,485 株	3,485 株	3,485 株
1 株 当 たり 四 半 期 (当 期) 純 利 益 又 は 純 損 失 (△)	△403 円 63 銭	377 円 32 銭	△26 円 31 銭	2,205 円 06 銭
潜 在 株 式 調 整 後 1 株 当 たり 四 半 期 (当 期) 純 利 益	—円—銭	—円—銭	—円—銭	—円—銭

(2) 事業部門別売上高

(単位：千円)

事業の種類	期 別	第 22 期 第 1 四半期 自平成 24 年 1 月 1 日 至平成 24 年 3 月 31 日	第 22 期 第 2 四半期 自平成 24 年 4 月 1 日 至平成 24 年 6 月 30 日	当期累計 自平成 24 年 1 月 1 日 至平成 24 年 6 月 30 日	前年同期累計 自平成 23 年 1 月 1 日 至平成 23 年 6 月 30 日
調 査 ・ 出 版 事 業		29,669	29,182	58,852	68,961
そ の 他 事 業		—	—	—	—
合 計		29,669	29,182	58,852	68,961

(3) 貸借対照表

(単位：千円)

科 目	期 別	第 21 期末 (平成 23 年 12 月 31 日現在)	第 22 期 第 1 四半期末 (平成 24 年 3 月 31 日現在)	第 22 期 第 2 四半期末 (平成 24 年 6 月 30 日現在)
(資産の部)				
I 流 動 資 産				
1. 現 金 及 び 預 金		151,964	150,433	153,271
2. 売 掛 金		22,552	22,767	22,063
3. 製 品		532	512	492
4. 貯 蔵 品		32	32	32
5. 前 払 費 用		1,558	1,411	1,139
6. 繰 延 税 金 資 産		20	—	—
7. 貸 倒 引 当 金		△135	△135	△135
流 動 資 産 合 計		176,526	175,021	176,864
II 固 定 資 産				
1. 有 形 固 定 資 産				
(1) 工 具 器 具 備 品		122	113	104
有 形 固 定 資 産 合 計		122	113	104
2. 無 形 固 定 資 産				
(1) 電 話 加 入 権		424	424	424
無 形 固 定 資 産 合 計		424	424	424
3. 投 資 其 他 の 資 産				
(1) 長 期 前 払 費 用		89	77	66
(2) 敷 金 ・ 保 証 金		2,718	2,718	2,718
投 資 其 他 の 資 産 合 計		2,807	2,795	2,784
固 定 資 産 合 計		3,354	3,334	3,313
資 産 合 計		179,880	178,355	180,178

科目	期別	第21期末	第22期 第1四半期末	第22期 第2四半期末
		(平成23年12月31日現在)	(平成24年3月31日現在)	(平成24年6月30日現在)
(負債の部)				
I 流動負債				
1. 未払金		439	444	303
2. 未払費用		4,034	5,096	5,720
3. 未払法人税等		434	—	86
4. 未払消費税等		1,104	1,180	1,098
5. 預り金		3,590	2,762	2,780
流動負債合計		9,601	9,482	9,990
II 固定負債				
1. 役員退職慰労引当金		6,844	6,844	6,844
固定負債合計		6,844	6,844	6,844
負債合計		16,445	16,326	18,032
(純資産の部)				
I 株主資本				
1. 資本金		53,000	53,000	53,000
2. 資本剰余金 資本準備金		632	632	632
資本剰余金合計		632	632	632
3. 利益剰余金				
(1) 利益準備金		12,618	12,618	12,618
(2) その他利益剰余金		97,185	95,778	97,093
別途積立金		15,000	15,000	15,000
繰越利益剰余金		82,185	80,778	82,093
利益剰余金合計		109,803	108,396	109,711
株主資本合計		163,435	162,028	163,343
純資産合計		163,435	162,028	163,343
負債純資産合計		179,880	178,355	180,178

項目	期別	第21期末	第22期 第1四半期末	第22期 第2四半期末
		(平成23年12月31日現在)	(平成24年3月31日現在)	(平成24年6月30日現在)
発行済株式総数		3,485株	3,485株	3,485株
1株当たり純資産額		46,896円80銭	46,493円17銭	46,870円49銭

(4) 株主資本等変動計算書

(単位：千円)

項 目	株主資本							株 主 資 本 合 計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				
		資 本 準 備 金	利 益 準 備 金	その他利益剰余金		利 益 剰 余 金 合 計		
				別 途 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金			
平成 23 年 12 月 31 日 残 高	53,000	632	12,618	15,000	82,185	109,803	163,435	
第 1 四 半 期 中 の 変 動 額								
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	—	
第 1 四 半 期 純 利 益 又 は 損 失 (△)	—	—	—	—	△1,406	△1,406	△1,406	
第 1 四 半 期 中 変 動 額 合 計	—	—	—	—	△1,406	△1,406	△1,406	
平成 24 年 3 月 31 日 残 高	53,000	632	12,618	15,000	80,778	108,396	162,028	
第 2 四 半 期 中 の 変 動 額								
第 2 四 半 期 純 利 益 又 は 損 失 (△)	—	—	—	—	1,314	1,314	1,314	
第 2 四 半 期 中 変 動 額 合 計	—	—	—	—	1,314	1,314	1,314	
平成 24 年 6 月 30 日 残 高	53,000	632	12,618	15,000	82,093	109,711	163,343	

(5) 貸借対照表及び損益計算書の作成の基本となる事項

四半期の貸借対照表及び損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している会計方針は「会社内容説明書 第5 経理の状況 (4) 個別注記表 ①重要な会計方針に関する注記」をご参照下さい。

事業年度の貸借対照表及び損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則及び手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

1. 固定資産の減価償却の方法
各四半期の減価償却費は、年間発生見積額の1/4に相当する金額を計上しております。
2. 消費税等の会計処理
仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ流動負債の未払消費税等として表示しております。
3. 金額の端数処理
千円未満の金額は切り捨てて表示しております。

なお、当第2 四半期の貸借対照表及び損益計算書並びに株主資本等変動計算書については、会計監査を受けておりません。

(6) 会計方針の変更

該当事項はありません。

II 第22期第2四半期（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）の業績の概況

国内景気は、2012年4月以降、東日本大震災からの復興需要やエコカー補助金の効果によりゆるやかに回復してきております。しかし、先行きについては加速する企業の海外進出と欧州債務危機の影響から国内の設備投資が抑制される懸念があります。当社のドメインとするICT分野におきましても、グローバルシステムの構築が進む一方で、保守・運用サービス分野を中心としたコスト削減も進んでいます。

メリハリのある判断が求められるICT市場の影響から第2四半期の売上は21%減と大幅に悪化しました。しかしながら、前年同期が20%増と大幅に伸びており、その反動もあります。また、マーケティング予算は景気に対して遅行性があり、2012年通期としては前年度並みの業績を達成できると予測しております。

これを事業別にみますと、自社企画資料の売上につきましては9.5%増と順調のようですが、前年同期が8.4%減であり、前々期並みの業績に留まったと言えます。リーマンショック以降、お客様の資料購入の稟議に時間がかかるようになってきているにも係らず、資料発刊が遅れたためです。

一方、受託調査の売上につきましては、前年同期にあった複数の大型案件が無くなり、41%減の大幅な減少でした。2012年4月以降、見積依頼商談が増えてきており、実績ベースでは第4四半期（10～12月）には回復すると予測しています。

これらの結果、当第2四半期の総売上高につきましては、29,182千円（対前年同期比21.0%減）となりました。利益につきましては、営業利益1,401千円（前年同期営業利益6,416千円）、経常利益1,401千円（前年同期経常利益6,431千円）、四半期純利益1,314千円（前年同期純利益4,495千円）と黒字決算となりました。第1四半期とほぼ同じ売上にも係らず第1四半期とは逆に黒字化したのは、経費削減に鋭意努めたためです。

III 第22期通期の売上高及び利益の予測について

第22期通期の売上高及び利益の予測につきましては、第1四半期において修正した売上133,000千円を、更に127,000千円（前年比0.3%増）に修正します。それと共に、修正のなかった経常利益も10,000千円（前年比11,520千円増）を4,200千円（前年比5,720千円増）に、当期純利益6,500千円（前年比5,189千円増）を2,500千円（前年比1,189千円増）に修正します。

IV 資金及び借入金の状況

(1) 現金及び預金の増減

(単位：千円)

科 目	期 別	第22期 第1四半期	第22期 第2四半期
		〔 自平成24年1月1日 至平成24年3月31日 〕	〔 自平成24年4月1日 至平成24年6月30日 〕
現金及び預金の増減額		△1,531	2,837
現金及び預金の四半期首残高		151,964	150,433
現金及び預金の四半期末残高		150,433	153,271

(主な増減理由)

売上債権703千円減少による増加、前払費用272千円減少による増加、未払費用624千円増加による増加、繰越利益剰余金1,314千円増加による増加が主な要因です。

(2) 短期借入金の増減

該当事項はありません。

(3) 長期借入金の増減

該当事項はありません。

V その他

該当事項はありません。